

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 株式会社 島津製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 山本 靖則  
 問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 荒金 功明 TEL 075-823-1128  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	339,472	11.0	45,780	0.7	48,320	3.6	35,922	6.0
2022年3月期第3四半期	305,858	10.8	45,457	38.9	46,632	43.5	33,877	43.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 38,613百万円 (1.3%) 2022年3月期第3四半期 38,103百万円 (40.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	121.91	—
2022年3月期第3四半期	114.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	591,603	405,071	68.5
2022年3月期	560,528	381,164	68.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 405,071百万円 2022年3月期 381,164百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2023年3月期	—	22.00	—		
2023年3月期(予想)				28.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	9.8	68,000	6.6	68,000	3.7	49,000	3.6	166.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

\*上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	296,070,227株	2022年3月期	296,070,227株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	1,398,992株	2022年3月期	1,416,992株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	294,665,061株	2022年3月期3Q	294,650,693株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2022年11月7日に公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)経営成績に関する説明 .....	2
(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1)四半期連結貸借対照表 .....	5
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 2023年3月期第3四半期 決算の概要 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ抑制に向けた各国の金融引き締めによる景気下振れリスクの拡大、中国ゼロコロナ政策によるロックダウンや、その後の政策変更に伴う感染者数急拡大など、不透明な状況が継続しました。

このような経営環境のもと、当社グループの売上は、部品・部材不足による生産遅延、中国の新型コロナウイルス感染拡大により製品据付遅延などの影響を受けました。また、営業利益は、コロナ禍で抑制していた人材投資・開発投資を進めたことや、中国の新型コロナウイルス感染拡大影響による売上減少、部品・部材価格高騰の影響を受けました。一方で、連結子会社化した日水製薬株式会社の業績が2022年10月から業績に寄与したことに加え、為替の円安進行による押し上げ効果により増収増益となり、過去最高を更新しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,394億7千2百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は457億8千万円(同0.7%増)、経常利益は483億2千万円(同3.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は359億2千2百万円(同6.0%増)となりました。

なお、医用機器製品の販売・保守業務などを手掛ける当社子会社の島津メディカルシステムズ株式会社において判明した、熊本県内の医療機関におけるX線装置の保守点検に関する5件の不適切行為について、当社は、本件の発生を重く受け止め、2022年9月1日付で、外部の専門家から構成される外部調査委員会を設置し、客観的かつ徹底的な調査及び再発防止策の提言を委託しております。当社は、調査委員会による調査の結果、明らかになった事実を速やかに公表するとともに、信頼の回復に向けて抜本的な再発防止に全力で取り組んでまいります。

各セグメントの状況はつぎのとおりです。

## I. 計測機器事業

計測機器事業は、中国の新型コロナウイルス感染拡大の影響、部品・部材不足の影響を受けました。一方、グローバルで創薬開発や医薬品の自国生産が進み、医薬を中心とするヘルスケア分野向けに、主力の液体クロマトグラフの需要が増加しました。また、国内で新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、新型コロナウイルス検出試薬キットが増加したことに加え、日水製薬株式会社を連結子会社としたことも業績に貢献しました。

この結果、当事業の売上高は2,202億8百万円(前年同期比10.7%増)となり、営業利益は部品・部材価格高騰の影響を受けましたが、売上の増加等により、381億4千3百万円(同0.8%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	2023年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	74,030	78,350	5.8	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、新型コロナウイルス検出試薬キットが増加。加えて、カーボンニュートラルを目標としたグリーンイノベーション分野向けにガスクロマトグラフや試験機が増加。また、連結子会社化した日水製薬株式会社の業績も貢献。
北米	21,738	23,901	10.0	一部大手顧客向け需要や新型コロナウイルス検出試薬キットが減少したものの、医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システム、水質分析向けに環境計測機器が増加。
欧州	21,536	23,670	9.9	ロシア向けが減少したものの、臨床分野における規制強化対応向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。
中国	50,207	54,623	8.8	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、医薬向けに液体クロマトグラフが増加。
その他のアジア	23,130	29,533	27.7	インドや東南アジアで医薬向け需要が拡大したことにより、液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。

## Ⅱ. 医用機器事業

医用機器事業は、医療機関による設備投資の回復に伴い、X線TVシステムなどのX線装置や、放射線治療装置用動体追跡システムが増加しました。

この結果、当事業の売上高は534億2千万円(前年同期比14.0%増)となり、営業利益は部品・部材価格高騰の影響等により、37億5千5百万円(同9.0%減)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	2023年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	25,528	27,598	8.1	医療機関の設備投資回復により血管撮影システムの新製品が増加。
北米	6,023	7,545	25.3	米国市場向けに投入した近接操作型X線TVシステムが増加。
欧州	2,661	3,168	19.1	東欧向けに一般撮影システムが増加。
中国	3,553	3,569	0.5	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、アフターマーケット事業が増加。
その他のアジア	4,832	5,387	11.5	東南アジアにおいて一般撮影システム、インドで血管撮影システムが増加。

## Ⅲ. 産業機器事業

産業機器事業は、ターボ分子ポンプが半導体製造装置向け、建材ガラス、薄膜太陽電池等の薄膜製造装置向けに増加しました。また、プラスチック強化材向けガラス繊維の需要拡大に伴い、ガラスワインダが増加しました。油圧機器は一部顧客による生産調整の影響があったものの、産業車両・建設機械・農業機械分野の需要が堅調に推移し、微増となりました。

この結果、当事業の売上高は462億7千3百万円(前年同期比11.6%増)となり、営業利益は部品・部材価格高騰の影響等により、44億4千1百万円(同0.4%減)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	2023年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	19,625	19,532	△0.5	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが増加。一方、前年大口案件の反動により工業炉が減少したことに加え、一部顧客の生産調整により油圧機器が減少。
北米	5,861	6,493	10.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が増加。
欧州	2,157	3,059	41.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが増加したことに加え、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が増加。
中国	9,699	12,670	30.6	ガラス繊維向けの需要拡大に伴い、ガラスワインダが増加。加えて、半導体製造装置や建材ガラス・薄膜太陽電池のコーティング向けにターボ分子ポンプが増加。
その他のアジア	4,017	4,377	8.9	韓国や台湾で半導体製造装置向けターボ分子ポンプが増加。

## IV. 航空機器事業

航空機器事業は、防衛分野が減少しましたが、民間航空機分野は社会経済活動の再開に伴い、航空旅客需要が増加し、回復基調となりました。

この結果、当事業の売上高は162億5千2百万円(前年同期比7.9%増)となりました。営業利益は売上の増加や収益改善により、6億7千6百万円(前年同期は6千9百万円の営業損失)となり、2期振りに黒字に転じました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	2023年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	12,305	11,595	△5.8	防衛分野向け修理案件が減少。
北米	2,600	3,975	52.9	航空旅客需要の増加に伴う航空機増産により、民間航空機向け搭載機器が増加。

## V. その他の事業

当事業の売上高は33億1千7百万円(前年同期比7.8%減)となり、営業利益は4億5千8百万円(同40.1%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しは、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立が進むものの、各国の金融引き締めによる景気後退リスクの拡大や、部品・部材価格高騰の影響等が懸念されます。

一方、ヘルスケア分野を中心に需要は強く、また部品・部材の供給制約も徐々に改善しており、豊富な受注残を売上に繋げます。さらに、価格改定により収益性の確保に努め、中期経営計画最終年度の目標達成を目指します。

連結業績予想につきましては、2022年11月7日公表の通期業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	157,966	146,854
受取手形、売掛金及び契約資産	121,931	118,328
商品及び製品	61,386	73,339
仕掛品	20,777	27,697
原材料及び貯蔵品	24,484	30,087
その他	9,984	15,954
貸倒引当金	△2,167	△2,077
流動資産合計	394,363	410,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,902	55,289
機械装置及び運搬具(純額)	7,261	8,356
土地	19,053	22,023
リース資産(純額)	1,910	2,147
建設仮勘定	992	1,775
その他(純額)	22,310	22,747
有形固定資産合計	104,430	112,338
無形固定資産		
のれん	2,283	6,727
その他	8,868	9,374
無形固定資産合計	11,151	16,102
投資その他の資産		
投資有価証券	13,496	14,064
長期貸付金	156	173
退職給付に係る資産	20,665	21,150
繰延税金資産	12,606	13,051
その他	4,003	4,899
貸倒引当金	△345	△359
投資その他の資産合計	50,583	52,979
固定資産合計	166,164	181,419
資産合計	560,528	591,603

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	66,538	67,806
短期借入金	1,504	1,399
リース債務	3,458	3,201
未払金	13,760	17,657
未払法人税等	10,944	3,963
契約負債	40,347	51,476
賞与引当金	11,657	6,055
役員賞与引当金	355	248
株式給付引当金	38	38
受注損失引当金	10	-
その他	10,126	12,212
流動負債合計	158,743	164,059
<b>固定負債</b>		
長期借入金	205	150
リース債務	6,422	6,734
役員退職慰労引当金	144	146
退職給付に係る負債	12,994	14,100
株式給付引当金	92	72
その他	759	1,268
固定負債合計	20,620	22,472
<b>負債合計</b>	<b>179,363</b>	<b>186,531</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	298,758	319,939
自己株式	△1,244	△1,209
株主資本合計	359,073	380,289
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	6,471	5,557
為替換算調整勘定	10,093	13,803
退職給付に係る調整累計額	5,525	5,421
その他の包括利益累計額合計	22,090	24,781
<b>純資産合計</b>	<b>381,164</b>	<b>405,071</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>560,528</b>	<b>591,603</b>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	305,858	339,472
売上原価	176,339	196,438
売上総利益	129,518	143,034
販売費及び一般管理費	84,061	97,253
営業利益	45,457	45,780
営業外収益		
受取利息	189	299
受取配当金	218	232
受取保険金	76	128
助成金収入	563	443
為替差益	195	1,676
その他	504	601
営業外収益合計	1,748	3,382
営業外費用		
支払利息	123	209
その他	448	633
営業外費用合計	572	843
経常利益	46,632	48,320
特別利益		
受取保険金	-	907
固定資産売却益	155	72
投資有価証券売却益	-	19
特別利益合計	155	1,000
特別損失		
事業整理損	-	618
固定資産処分損	104	126
投資有価証券評価損	13	2
火災損失	561	-
特別損失合計	679	747
税金等調整前四半期純利益	46,108	48,573
法人税、住民税及び事業税	10,686	12,532
法人税等調整額	1,544	118
法人税等合計	12,230	12,651
四半期純利益	33,877	35,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,877	35,922

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	33,877	35,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,431	△914
為替換算調整勘定	3,668	3,710
退職給付に係る調整額	△874	△104
その他の包括利益合計	4,225	2,691
四半期包括利益	38,103	38,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,103	38,613
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した日水製薬株式会社他1社を連結の範囲に含めています。また、日水製薬株式会社の子会社化に伴い、その関連会社2社を持分法適用の範囲に含めています。なお、日水製薬株式会社は当社の特定子会社に該当しています。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	198,874	46,862	41,460	15,063	302,261	3,597	305,858	-	305,858
セグメント間の 内部売上高	6	45	84	10	147	1,516	1,664	△1,664	-
計	198,880	46,907	41,545	15,074	302,408	5,113	307,522	△1,664	305,858
セグメント利益 又は損失(△)	37,825	4,126	4,457	△69	46,340	765	47,105	△1,648	45,457

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	220,208	53,420	46,273	16,252	336,154	3,317	339,472	-	339,472
セグメント間の 内部売上高	35	40	46	27	148	1,763	1,912	△1,912	-
計	220,244	53,460	46,319	16,279	336,303	5,080	341,384	△1,912	339,472
セグメント利益	38,143	3,755	4,441	676	47,017	458	47,475	△1,694	45,780

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
135,086	40,314	26,461	63,468	32,014	8,512	305,858

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
140,389	47,583	30,388	70,890	39,455	10,764	339,472

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 :アメリカ  
 欧州 :イギリス、ドイツ  
 中国 :中国  
 その他のアジア :インド、東南アジア、韓国、台湾  
 その他 :オーストラリア、中近東、アフリカ

## 3. 補足情報

## 2023年3月期第3四半期 決算の概要

行 番		2022年3月期	2023年3月期	対前年同期		2022年3月期	2023年3月期	
		第3四半期	第3四半期			実績	予想	
		連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率			
1	売上高	百万円	305,858	339,472	33,614	11.0%	428,175	470,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(198,874)	(220,208)	(21,334)	(10.7%)	(277,515)	—
3	売上高(医用機器)	百万円	(46,862)	(53,420)	(6,558)	(14.0%)	(66,894)	—
4	売上高(産業機器)	百万円	(41,460)	(46,273)	(4,812)	(11.6%)	(56,736)	—
5	売上高(航空機器)	百万円	(15,063)	(16,252)	(1,188)	(7.9%)	(22,301)	—
6	売上高(その他)	百万円	(3,597)	(3,317)	(△279)	(△7.8%)	(4,727)	—
7	地域別売上高【日本】	百万円	135,086	140,389	5,303	3.9%	201,164	—
8	地域別売上高【海外】	百万円	170,771	199,082	28,311	16.6%	227,010	—
9	海外売上高(米州)	百万円	(40,314)	(47,583)	(7,269)	(18.0%)	(55,378)	—
10	海外売上高(欧州)	百万円	(26,461)	(30,388)	(3,927)	(14.8%)	(35,297)	—
11	海外売上高(中国)	百万円	(63,468)	(70,890)	(7,421)	(11.7%)	(81,469)	—
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(32,014)	(39,455)	(7,440)	(23.2%)	(43,109)	—
13	海外売上高(その他)	百万円	(8,512)	(10,764)	(2,251)	(26.5%)	(11,754)	—
14	営業利益	百万円	45,457	45,780	323	0.7%	63,806	68,000
15	経常利益	百万円	46,632	48,320	1,687	3.6%	65,577	68,000
16	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	33,877	35,922	2,044	6.0%	47,289	49,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	114.98	121.91	—	—	160.49	166.29
18	1株当たり配当金	円	20.00	22.00	—	—	48.00	50.00
19	設備投資	百万円	10,100	17,789	7,689	76.1%	16,357	24,000
20	減価償却費	百万円	12,072	12,924	851	7.1%	16,205	17,000
21	総資産	百万円	520,353	591,603	71,250	13.7%	560,528	—
22	純資産	百万円	362,125	405,071	42,946	11.9%	381,164	—
23	自己資本比率	%	69.6	68.5	—	—	68.0	—
24	連結従業員数	人	13,479	13,839	360	—	13,499	—
25	連結子会社数	社	76	78	—	—	76	—
26	(日本)	(社)	(23)	(23)	—	—	(23)	—
27	(海外)	(社)	(53)	(55)	—	—	(53)	—